

[普及事項]

成果情報名：赤色防虫ネットを用いた食用ぎくのアザミウマ類に対する薬剤散布回数の削減

研究機関名 農業試験場生産環境部病害虫チーム

担当者 蛭川泰成・高橋良知

[要約]

食用ぎくの施設栽培において、赤色防虫ネットを設置することで、アザミウマ類の侵入量が減少し、花の被害を抑制できる。このとき、定植～6月中下旬までのアザミウマ類を対象とした薬剤散布回数を慣行防除と比較して4～5回削減できる。

[キーワード]

食用ぎく・施設栽培・アザミウマ類・赤色防虫ネット・薬剤散布回数

[普及対象範囲]

県内食用ぎく生産者

[ねらい]

食用ぎくの施設栽培における主要害虫は、ヒラズハナアザミウマを主としたアザミウマ類であり、発生期間が長く、栽培期間を通じて薬剤散布が実施されている。これまで、施設アスパラガスでは赤色防虫ネットにより、アザミウマ類の侵入抑制効果を確認していることから、食用ぎくについても本害虫の被害抑制と薬剤散布回数の削減が期待できるため、本資材の効果を検証する。

[成果の内容及び特徴]

- 1 赤色防虫ネットの設置ハウスは、ハウス内に侵入するアザミウマ類が白色防虫ネットの設置ハウスより少なく（図1、2）、花の被害が低く抑えられた（図3）。
- 2 赤色防虫ネットの設置により、定植～6月下旬までのアザミウマ類を対象とした薬剤散布回数は、2024年、2025年それぞれで白色防虫ネットの設置に比べて4、5回削減できた（表1）。

[成果の活用上の留意点]

- 1 試験は、横手市十文字の現地ほ場で実施した。ハウスの面積は1棟59.4㎡(11×5.4m)である。
- 2 赤色防虫ネットは、日本ワイドクロス株式会社製サンサンネットクロスレッドXR-2700（目合0.8mm）、白色防虫ネットは、同社製サンサンネットソフライトSL-2700（目合0.8mm）を使用し、ハウスの出入り口、側窓部に展張した。両区のハウスは、屋根に近紫外線除去フィルムを使用した。
- 3 防虫ネットは、ハウスの開口部に隙間なく展張する。
- 4 赤色防虫ネットを設置する場合も、花の被害を抑制するために7月以降は薬剤防除を行う。
- 5 ハウス周辺の雑草は、アザミウマ類の発生源となるため、定期的に除草を行う。
- 6 試験期間中に粘着板への誘殺が確認されたアザミウマ類は、ヒラズハナアザミウマとネギアザミウマの2種であった。種の構成比は、ヒラズハナアザミウマが94～99%であった。

[具体的なデータ等]

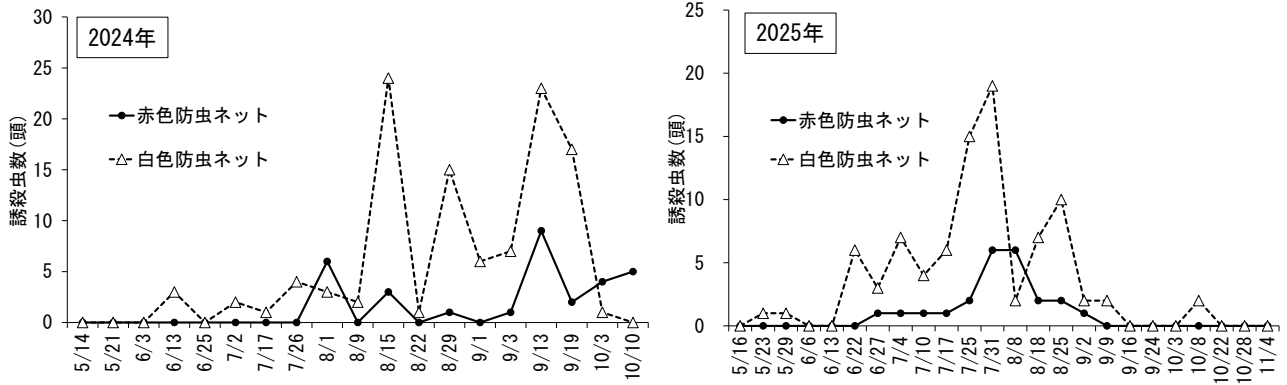


図1 各ハウスにおけるアザミウマ類の誘殺数の推移

1) 数値は、ハウス内の側窓付近2カ所に設置した青色粘着板2枚と黄色粘着板2枚の誘殺数の合計値

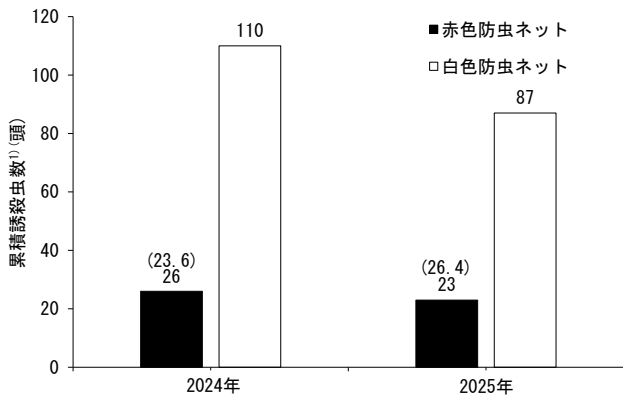


図2 粘着板へのアザミウマ類の累積誘殺虫数

- 1) 数値は、図1に示す誘殺虫数の累積値
- 2) ()内の数値は、対白色防虫ネット比

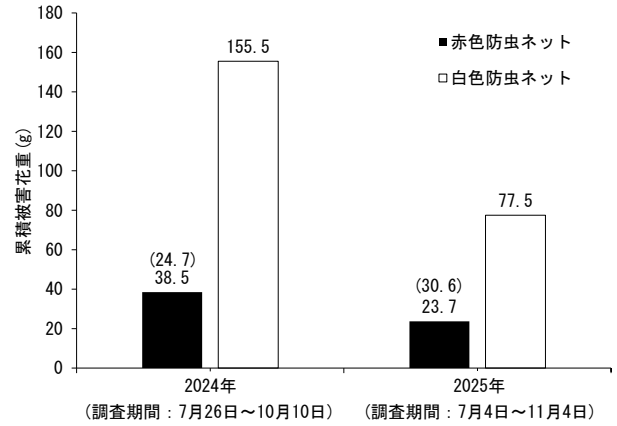


図3 累積被害花重の比較

- 1) ハウス内の60株を概ね7日間隔で調査
- 2) ()内の数値は、対白色防虫ネット比

表1 アザミウマ類を対象とした薬剤の散布履歴

年	区	5月2日	5月29日	6月10日	6月20日	6月29日	7月18日	7月25日	8月1日	8月9日	8月21日	9月2日	9月11日	9月25日	アザミウマ類対象の散布回数
		(定植)													
2024年	赤色防虫ネット	—	—	—	—	ベストガード 顆粒水和剤 (1,000倍)	コテツ フロアブル (2,000倍)	グレース 乳剤 (2,000倍)	ディアナ SC (5,000倍)	コテツ フロアブル (2,000倍)	スビ/エース 顆粒水和剤 (10,000倍)	バズロイト EW (3,000倍)	ベストガード 顆粒水和剤 (1,000倍)	ディアナ SC (5,000倍)	9
	白色防虫ネット (慣行)	ベストガード 粒剤	マラソン乳剤 (2,000倍)	アテント 水和剤 (1,000倍)	モビラン 顆粒水溶剤 (2,000倍)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13
2025年	区	5月10日	5月23日	6月5日	6月15日	6月25日	7月10日	7月20日	8月1日	8月10日	8月20日	9月1日	9月11日	9月25日	アザミウマ類対象の散布回数
	(定植)														
2025年	赤色防虫ネット	—	マラソン乳剤(1) (2,000倍) ※アブラムシ対象	—	—	—	コテツ フロアブル (2,000倍)	グレース 乳剤 (2,000倍)	ディアナ SC (5,000倍)	コテツ フロアブル (2,000倍)	スビ/エース 顆粒水和剤 (10,000倍)	バズロイト EW (3,000倍)	ベストガード 顆粒水和剤 (1,000倍)	ディアナ SC (5,000倍)	8
	白色防虫ネット (慣行)	ベストガード 粒剤	マラソン乳剤 (2,000倍)	アテント 水和剤 (1,000倍)	モビラン 顆粒水溶剤 (2,000倍)	ベストガード 顆粒水和剤 (1,000倍)	—	—	—	—	—	—	—	—	13

1) アブラムシの発生が多く認められたため、薬剤散布したが、アザミウマ類を対象とした薬剤散布回数からは除外した

[その他]

研究課題名：食用ぎくにおける赤色防虫ネットを用いたアザミウマ類に対する防除体系の確立

研究期間：令和6年度～令和7年度

予算区分：配当

掲載誌等：なし